

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-189374

(43)Date of publication of application : 08.07.1994

(51)Int.Cl.

H04Q 9/00

H04Q 9/00

(21)Application number : 04-336509

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO
LTD

(22)Date of filing : 17.12.1992

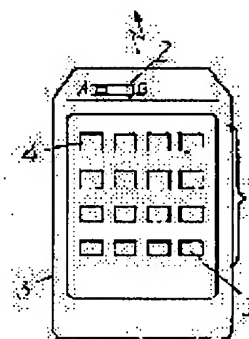
(72)Inventor : YAMAGIWA TSUTOMU

(54) REMOTE CONTROLLER

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the remote controller in which the arrangement of functions of keys assigned in advance is freely revised and keys are operated according to the revised key arrangement.

CONSTITUTION: When a function of a key 3 is assigned to a key 4, at first a slide switch 2 is thrown to the position A, the key 3 is depressed, and then the slide switch 2 is set to the position B and the key 4 is depressed, then the function of the key 3 is assigned to the key 4. The key arrangement is revised by repeating the operation above.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 02.06.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 30.01.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-189374

(43)公開日 平成 6 年(1994) 7 月 8 日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 Q 9/00

識別記号

3 1 1 P 7170-5K

3 7 1 B 7170-5K

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21)出願番号

特願平4-336509

(22)出願日

平成 4 年(1992)12月17日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 山際 勤

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

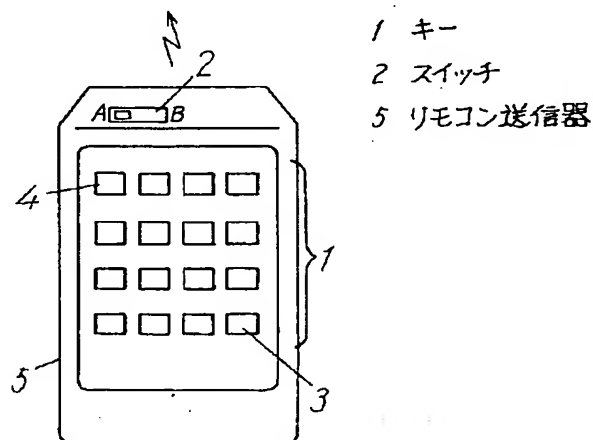
(74)代理人 弁理士 小銀治 明 (外 2 名)

(54)【発明の名称】 遠隔制御装置

(57)【要約】

【目的】 製造元によってキーの位置と送信コード及び機能が割り付けられている遠隔制御装置において、予め割り付けられているキーの機能の配置を自由に変更でき、変更したキー配置に従って操作できる遠隔制御装置を提供することを目的とする。

【構成】 キー3の機能をキー4の位置に移す場合、まずスライドスイッチ2をAに設定し、キー3を押し、次にスライドスイッチ2をBに切り換えキー4を押すと、キー3の機能はキー4の位置に移る。この操作を繰り返すことによりキー配置を変更できるという特徴を有した遠隔制御装置である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 リモコン送信器上のキーに予め割りふられた送信コード及び機能の配置を各使用者によって全く新しいキー配置に自由に変えることができるスイッチを設けた遠隔制御装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は主に映像機器・音響機器・空調機器などのような各電子機器に使用される遠隔制御装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 まず、従来の遠隔制御装置の構成について説明する。図2は従来の遠隔制御装置の一例である普及型リモコン送信器のキー配置の構成と動作説明をするものである。図2において100はリモコン送信器、101は全てキーであり、これらは全て予め製造元によって割りふられた場所のキーに、予め割りふられた送信コード、あるいは送信はしなくとも予め割りふられた何らかの機能が割り付けられている。

【0003】 次に従来の遠隔制御装置の動作について説明する。各ユーザーは図2におけるキー101の中から選択したキーを押すことにより各キーに当初割り付けられた通りの送信コードを送信したり、割り付けられた通りの機能を動作させることができる。

【0004】 また、これらの機能の割り付けられたキーの位置は当初割り付けられた位置に固定されており、各使用者は当初割り付けられたキー配置に従いそれぞれのキーの操作を行うことができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら各使用者によって使用頻度の高いキーが異なったり、一連の操作として連続的に使用するキーの順番やそのキーの種類が異なったりするため、上記の従来の遠隔制御装置の構成では、常にあるいは頻繁に一連の操作として特定の複数のキーを連続的に使用する場合においても、1つ1つキーの位置が離れているとそれぞれのキーの位置を記憶あるいは確認する必要がある、また特にキー数の多い遠隔制御装置の場合は操作したいキーを探さなければならないこともあり得るという課題があった。

【0006】 本発明は、このような上記の従来の問題点を解決するもので、予め送信コード及び機能の割り付けられたキーのキー配置を各使用者が自分の都合の良いように自由に変更することが可能である構成にすることにより各使用者が一連の操作として連続的に複数のキーを使用する場合に、必要なキーを1ヶ所にまとめて配置し直したり、頻繁に使用するキーを操作しやすい位置に移動させたりすることのできる遠隔制御装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため

に本発明はそれぞれのキーに割り付けられている送信コード及び機能の配置を各使用者が自由に変更することができ、変更したキー配置に従って操作することができるスイッチを設けるようにしたものである。

【0008】

【作用】 従って本発明によれば遠隔制御装置上に存在する送信コード及び機能の割り付けられている全てあるいは一部のキーに関して、予め割り付けられている各キーの送信コード及び機能の配置を各ユーザーが自分自身の使い勝手に応じて自由に変更し、その変更したキー配置に従って機能を出力できるという構成を設けることによって一連の操作として連続的に操作する必要のあるキーを1ヶ所にまとめることができるため、1つ1つのキーの位置を記憶あるいは確認する必要がなくなり誤操作の恐れが減少するという効果を有する。以上のように、各使用者のキー操作の利便性が向上すると同時に各使用者の個性を反映した差別化された遠隔制御装置が実現される。また、キー配置を考える製造元にとっても操作性にとらわれることが少なくなり、キー配置に自由度が広がるという効果を有する。

【0009】

【実施例】 次に本発明の実施例について図面を参照しながら構成及び動作を説明する。図1において5はリモコン送信器、1は全て製造元によって送信コード及び何らかの機能を割り付けられているキーである。2はキー1に割り付けられる機能のモードを切り換えるためのスイッチとしてのスライドスイッチである。

【0010】 次に上記実施例の動作について説明する。スライドスイッチ2をA側にしてある時、各キー1には予め製造元によって割り付けられたキー配置通りに各機能が割り付けられているため、各キー1を1つ操作すると当初そのキーに割り付けられた通りの機能を出力する。つまりスライドのスイッチ2がA側にある時は従来の遠隔制御装置と同様の動作をする。

【0011】 以下は各キー1の機能のキー配置の変更の方法を説明する。まずスライドスイッチ2をA側に設定し、キー1の中からキー配置を変更したい機能を有するキー（例えば3のキー）を一つ押す。次にスライドスイッチ2をB側に変更し、スライドスイッチ2がA側の時に押したキー3の機能を移したい先のキー（例えば4のキー）を押すと、キー3の機能はキー4の位置に移される。引き続き他のキー1の機能の位置を変更する場合はスライドスイッチ2をA側に戻し、同様の操作を繰り返す。

【0012】 上記の操作によって変更されたキー配置に従ってキー操作を行う時はスライドスイッチ2をB側に、また予め製造元によって割り付けられたキー配置に従ってキー操作を行う時はスライドスイッチ2をA側にしてキー操作を行う。

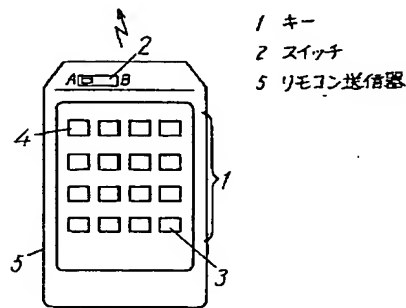
【0013】

【発明の効果】本発明は上記実施例から明らかなように遠隔制御装置において、予め製造元によって割り付けられたキーの送信コード及び機能のキー配置を各使用者が自分自身の使い勝手の良いように変更し、変更したキー配置に従って操作できるため、各使用者が使用するキーの位置を容易に判別でき、誤操作の恐れを減少させることができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における遠隔制御装置のキー

【図1】



配置の構成と、その動作説明のための正面図

【図2】従来の遠隔制御装置のキー配置の構成と、その動作説明のための正面図

【符号の説明】

- 1 キー
- 2 スイッチ
- 3 標準機能割り付け位置
- 4 3のキーの機能の移動先

【図2】

